

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第98回）に係る面談（検討会后）

2. 日時：令和4年3月14日（月） 17時35分～18時05分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、横山係長、久川係員、塩唐松係員

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁から、本日開催した第98回特定原子力施設監視・評価検討会（以下、「検討会」という。）における主な指摘事項の確認を行うとともに、現時点で検討している次回検討会の議題案について説明した。

○また、本日の検討会において資料配布とした、「資料3-6 HIC内スラリー移替作業の状況について」に関して、高線量HIC2基目（HIC4基目）の移替作業を実施するにあたっては、以下のコメントを留意した上で実施するよう求めるとともに、作業状況については引き続き保安検査等で確認することとした。

- ✓ 本作業のうち、SEDSの取付け・取外し等のHIC蓋開放時に行う作業については、高線量の放射性物質を非密封で扱う作業であることを改めて認識するとともに、習熟した作業員を配置する等、可能な限り作業時間を削減した上で実施すること。
- ✓ また、本作業の目的が、積算吸収線量5,000kGyを超過したHICからの液体放射性物質の漏えい防止であることを鑑みて、上澄み水含む流動性のあるスラリーの抽出を主目的に作業を実施すること。

○東京電力ホールディングス株式会社から、主な指摘事項及びHIC内スラリー移替作業に係るコメントについては検討の上、対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。また、次回検討会の議題候補について了解した旨回答があった。

6. 資料

➤ なし